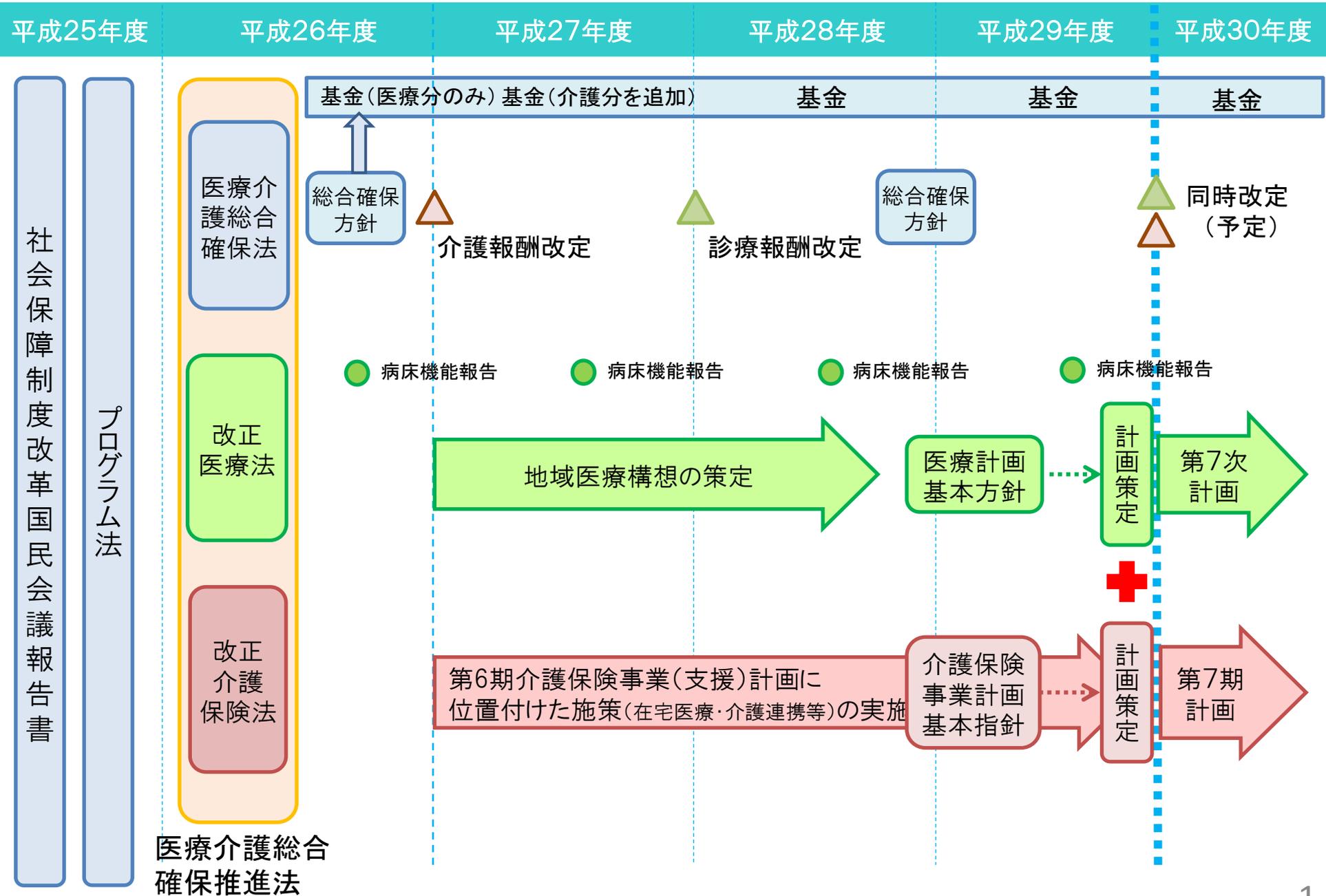


医療と介護の一体的な改革に係る主な取組のイメージ

【資料1-1】



第7次愛媛県地域保健医療計画(在宅医療)で掲げる整備目標

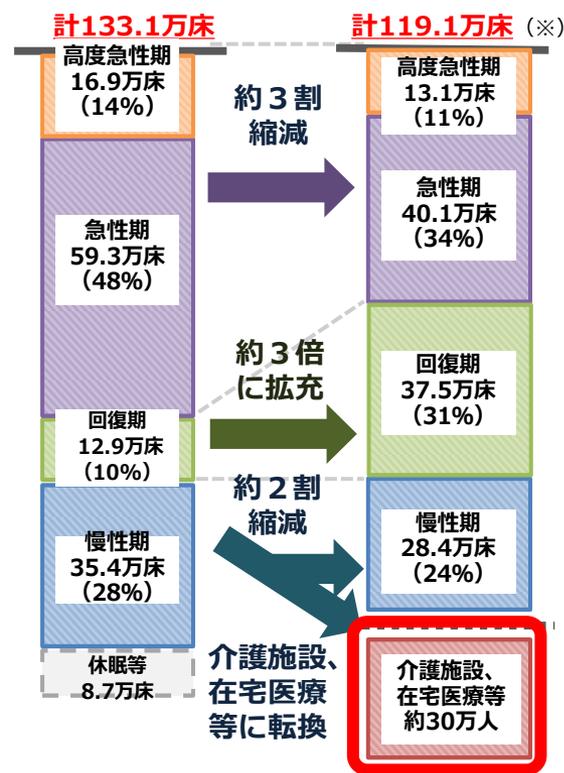
病期	目標
日常の療養支援	訪問診療を実施している診療所数・病院数
	訪問薬剤指導を実施する薬局数
	居宅に歯科訪問診療を実施している診療所数
	施設に歯科訪問診療を実施している診療所数
急変時の対応	往診を実施している診療所・病院数
	24時間対応体制加算の届出をしている訪問看護ステーション数
	機能強化型訪問看護管理療養費の届出をしている訪問看護ステーション数
看取り	在宅看取り(ターミナルケア)を実施している診療所・病院数

「地域医療構想」の達成の推進

- 平成29年度以降、地域ごとの「地域医療構想調整会議」での具体的議論を促進。
- 病床の機能分化・連携の議論に必要な診療等データの提供、基金の重点配分、診療報酬・介護報酬での対応を実施。

平成28年度末に全都道府県で策定完了
⇒地域ごとに、2025（平成37）年時点での病床の必要量を『見える化』

【足下の病床機能】（平成27年7月現在）
【2025（平成37）年の病床必要量】



①機能分化・連携のための診療等のデータ提供

- ✓ 病床の役割分担を進めるため、手術やリハビリの件数や、疾病ごとの患者数等のデータを国から提供。
- ✓ データを活用し、個別の病院名や転換する病床数等の具体的対応方針を集中的に検討。

議論の一例

病院	急性期	手術件数	リハビリ件数
A病院	250床	50 (件/月)	200 (件/月)
B病院	200床	40 (件/月)	160 (件/月)
C病院	100床	5 (件/月)	100 (件/月)

国からデータ提供

C病院は、

- ・手術の件数は少ない
- ・リハビリの実施件数は他院と同等

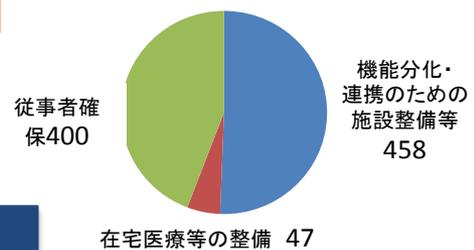
C病院の方針

C病院を回復期機能へ転換し、病床数を50床に減床

②地域医療介護総合確保基金による支援

- ✓ 個別の病院名や転換する病床数等の具体的な事業計画を策定した都道府県に対し、重点的に配分。

配分実績 合計904億円
(平成28年度)



③診療報酬・介護報酬改定による対応

- ✓ 平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定をはじめ、今後の診療報酬改定・介護報酬改定において、病床の機能分化・連携の取組の後押し、介護施設、高齢者住宅、在宅医療等への転換等の対応を進める。

※ 内閣官房推計（平成27年6月）の合計
114.8～119.1万床の範囲内